

令和2年5月26日

## 主催大会における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

一般社団法人山形県水泳連盟

一般社団法人山形県水泳連盟は令和2年5月14日付スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び同日付公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守するとともに、現場実態に即した本連盟独自のガイドラインを策定し、実行していくことで新型コロナウイルスの感染拡大予防に役立てていく事とする。

なお、開催場所や実施時期等により、状況に応じた的確な対応が求められるため、事前に施設管理者及び地区加盟団体と十分協議した上できめ細やかな対応を行っていく。

また、大会実施にあたっては、国及び地方自治体からの指導や要請を踏まえた対応していくことと併せ、以下に示した基本方針を軸に検討及び対応していく事とする。

### 《基本方針》

- ① 地域分散による開催
- ② 参加人数、保護者や観戦者の人数制限
- ③ 大会形式の変更（予選・決勝を行わず、タイムレース決勝とする等）
- ④ 参加種目の限定
- ⑤ 期間及び競技時間の短縮

等

### 1. 共通事項

#### （1）参加者及び観客への周知

- ①大会開催時における新型コロナウイルス感染拡大予防対策・・・・・・別紙1
  - ②選手・指導者、観客の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・別紙2
- を会場内及びプログラム等に掲示する。（会場内は入口等見えやすい場所）

#### （2）確認書の提出

参加者（役員、選手、指導者等）からは大会参加ルール確認書（別紙3）の提出を受ける。  
（保存期間一ヵ月以上）※電子ツール等が使用できる場合は利用する。

#### （3）参加及び来場要件の遵守

以下の要件の遵守ができない者の参加及び来場を認めない。

- ✓ 体調不良がないこと（発熱、咳、咽頭痛 等）。
- ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいないこと。
- ✓ 過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域へ

の渡航又は当該在住者・帰国者との濃厚接触がないこと。

- ✓ マスクを持参し、咳エチケットを行うこと。(競技時、食事等を除く。※熱中症にも留意)
- ✓ こまめな手洗い(30秒以上)、手指の消毒の確実な実施をすること。
- ✓ 手洗い時のマイタオル(貸し借りしない)を持参すること。
- ✓ 飲食時は対面にならないよう注意し、飲み物の共用(大型ボトル)は行わないこと。
- ✓ 他の選手、指導者、観客、役員等との適度な距離の確保をおこなうこと。
- ✓ 大声での会話及び応援を控えること。
- ✓ 鼻水、唾液のついたごみはビニール袋に入れ密閉して持ち帰り、ゴミを回収する人はマスク及び手袋を着用すること。(その後の手洗い、手指消毒の徹底)
- ✓ その他主催者の感染防止のための措置の遵守並びに指示に従うこと。
- ✓ 大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は本連盟に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

#### (4) 検温の実施

参加者(大会関係者、観客を含む)は入場時に検温を受け、発熱がある場合は入場を許可しない。

#### (5) 消毒等

入場時の手指消毒及び会場内(特に共用個所)の定期消毒を実施する。

#### (6) 会場の換気

会場内の常時(随時)換気を行う。

## 2. 主催者及び参加者の個別留意点

### (1) 大会役員等

#### ①大会事前準備

- ✓ 極力面談での会議を避け、可能な限りオンライン会議や電子メール等を活用する。
- ✓ 会場準備時において、人との距離が取れない場合は、原則マスク着用とする。

#### ②会場内

- ✓ 競技役員席並びに競技役員控場所においては、席等の間隔を広くとる。
- ✓ 観客席(観覧スペース)の利用については、施設の指導に従う。
- ✓ 観客席(観覧スペース)の利用を認める場合は、離隔を確保し密集とならないよう人数制限、列の規制及び撮影時のみとする等の諸対応を行う。
- ✓ 受付時や撮影許可証発行時等対面接触となる場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等を設置し、列の間隔確保を行う。

#### ③競技役員打合せ(間隔の確保を行った上で)

- ✓ 役員全体打合せを省略する場合がある。
- ✓ その場合は主任会議後にパート単位で周知する。
- ✓ 出来る限り短時間で行う。

#### ④開・閉会式及び表彰等

- ✓ 選手、役員が集合しての開会式及び閉会式は行わない。(選手宣誓も実施しない)
- ✓ 審判長からの競技上の注意等については放送にて行う。
- ✓ 表彰を行わない場合がある。(後日発送やHP等での発表)
- ✓ 表彰を実施する場合も、対面での授与を省略し、事前に配布(各人が受け取った)賞状やメダル等を持った(かけた)スタイルで選手が入場した後、観客等へ披露する。

⑤招集所

- ✓ 選手間のスペースを極力空けさせる。
- ✓ 選手間の会話を極力慎む指導を行う。
- ✓ 選手確認の際、マスク着用で聞こえにくい場合は拡声器を使用する等工夫する。

⑥ 共用品等

共用品（ストップウォッチ、無線機、各種端末機器 等）の消毒を競技役員交代時に実施する。

⑦ 定期巡回及び消毒の実施

- ✓ 競技役員は適時施設内を巡回し、ルールを順守しているか確認及び適宜指導を行う。
- ✓ 共用場所（特に洗面所、更衣室、出入り口のノブや階段の手すり、トイレ等多くの人が触れる場所）について定期的な消毒を実施する。

⑧ 競技進行及び運営

- ✓ 競技の間隔は通常より空け、選手同士が極力密集しないよう留意する。  
（リレー種目を行う場合の離隔の確保に特に留意する）
- ✓ 競技役員体制については、少人数で対応できる工夫を施し、効率化を検討する。
- ✓ 通告担当、スターター等音声による案内等を行う者は特に離隔の確保に注意する。

**（２）選手、監督及びコーチ**

①ウォーミングアップ及びクールダウン

- ✓ 1つのレーンに多くの選手が入らない事（前泳者と2メートル以上の間隔をあける。）
- ✓ コースエンドでの選手の密集を避けるため、休憩時間が長くなる時は一旦プールから上がる。
- ✓ スタート練習の際の選手間の離隔を確保する。
- ✓ 接触して補助が必要な練習は避ける。
- ✓ 練習道具は自身のもの以外は利用せず、ドリンク等について回し飲みなどは絶対にしない。
- ✓ 監督及びコーチは原則マスク着用で指導する。（熱中症に注意）

②控え場所

- ✓ テントを張っての控え場所を確保する場合は、常に風通しを意識し、密閉空間とならない工夫を行う。（サイドの風よけや三角型のテント等は原則使用しない）
- ✓ 選手、指導者とも原則マスクを着用する。（熱中症に留意）
- ✓ 極力対面とならない配置と一定スペースの確保に努める。
- ✓ ペアでのストレッチ等は行わない。
- ✓ 各チームで消毒液を準備し、共用の場所へ移動した際は手指消毒をおこなう。

③更衣室

- ✓ 人との離隔が十分に確保できない場合は人数制限を行う。
- ✓ 更衣室内ではマスク着用のまま、会話は控え、短時間で更衣を済ませる。
- ✓ シャワー、洗面について、仕切りが無い場合は間隔を空けた利用とする。
- ✓ 水着の脱水機は当面利用をしない。
- ✓ バスタオル、セーム等の共用はしない。

④応援、コーチング

- ✓ コーチングボックスでの離隔を確保する。（大声での指導禁止）
- ✓ 密接状態での応援はせず、拍手を多用する。なおメガホン、鳴り物等は共用品となるた

め原則使用を禁止する。

### (3) 保護者・観客

- ✓ 送迎等時における集団での待機等を避ける。
- ✓ 撮影の際は、長時間とならないよう譲り合いながら行う。
- ✓ 日頃からの選手の体調管理には特段の注意を払い、少しでも体調に異変がある場合は決して無理をして参加させないよう指導徹底を行う。

### (4) その他

- ✓ このガイドラインに記載のない事項については、施設管理者及び開催地加盟団体の指示に従うこと。
- ✓ 政府及び関係自治体及び機関が示す各段階に応じた要請や指針等により、本内容を変更し運用を行う場合がある。

## 3. 適用期間

令和2年度の主催大会より適用し、適用終了の判断については連盟役員会にて協議し判断する。

以上

(策定における参照資料)

◇令和2年5月14日付

スポーツ庁発 「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

[https://www.mext.go.jp/sports/content/20200514-spt\\_sseisaku01-000007106\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20200514-spt_sseisaku01-000007106_1.pdf)

◇令和2年5月14日付

公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会発

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>

(関係様式)

- ・大会主催時における新型コロナウイルス感染防止対策 . . . . . 別紙1
- ・選手・指導者、観客の皆様へ . . . . . 別紙2
- ・大会参加ルール確認書 . . . . . 別紙3

# 大会開催時における新型コロナウイルス感染拡大予防対策

一般社団法人山形県水泳連盟

一般社団法人山形県水泳連盟は令和2年5月26日付「主催大会における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」にもとづき、以下の主要対策を行っております。なお、記載にない部分については一般社団法人山形県水泳連盟ホームページより前述の指針をご参照頂くか、大会関係者へお問い合わせ下さい。

## 【基本対応】

- ✓ 地域分散の開催（可能な限り）
- ✓ 参加人数の調整及び制限（観客席の利用を含む）
- ✓ タイムレース決勝の実施（原則）
- ✓ 参加種目の限定（選手規模等による）
- ✓ 期間及び時間の短縮

等

## 【会場関係】

- ✓ 参加者からの大会ルール確認書の提出（体調、接触関係、来場要件の遵守など）
- ✓ 検温（入場時）
- ✓ 消毒（手指、競技に必要な共用品、会場内の共有部分等）
- ✓ マスクの着用（役員、選手及び指導者※競技時等を除く）
- ✓ 人との距離の確保（各種打合せ、役員席、招集所、控え室、表彰、サブプール、更衣室、観客席、シャワー室、洗面所、コーチングボックス、応援時等）
- ✓ 定期巡回（ルールの遵守確認）
- ✓ 換気の実施
- ✓ 塩素濃度の定期確認

等

## 【運営】

- ✓ 打合せの時間短縮
- ✓ 表彰の省略及び手法変更
- ✓ 選手・役員が集合しての開・閉会式の省略
- ✓ 大声での応援禁止、メガホン等共用品の使用禁止

等

## 選手・指導者、観客の皆様へ（大会参加チェックリスト）

一般社団法人山形県水泳連盟

大会参加にあたっては以下のルールを必ず守って下さい。また、大会途中でルールに違反する行為があった際には、退場を命じる場合があります。参加者全員の安全安心のためですので、ご協力よろしくお願いします。

- ✓ 体調不良がないこと（発熱、咳、咽頭痛 等）
- ✓ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいないこと
- ✓ 過去 14 日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航又は当該在住者・帰国者との濃厚接触がないこと
- ✓ マスクを持参し、咳エチケットを行うこと（競技時、食事等を除く。※熱中症にも留意）
- ✓ こまめな手洗い（30 秒以上）、手指の消毒を確実に実施すること
- ✓ 手洗い時のマイタオル（貸し借りしない）を持参すること
- ✓ 飲食時は対面にならないよう注意し、飲み物の共用（大型ボトル）は行わないこと
- ✓ 他の選手、指導者、観客、役員等との適度な距離の確保をおこなうこと
- ✓ 招集所やリレーで待機する際は、適度な距離を確保し、極力会話を控えること
- ✓ 大声での会話及び応援を控えること
- ✓ 鼻水、唾液のついたごみはビニール袋に入れ密閉して持ち帰り、ゴミを回収する人はマスク及び手袋を着用すること。（その後の手洗い、手指消毒の徹底）
- ✓ ウォーミングアップ及びクールダウン時は 1 つのレーンに多くの選手が入らないこと（前泳者と 2 メートル以上の間隔をあける。）
- ✓ 接触して補助が必要な練習は避ける。
- ✓ コースエンドでの選手の密集を避けるため、休憩時間が長くなる時は一旦プールから上がることを
- ✓ スタート練習の際は選手間の人との距離を空けること
- ✓ 練習道具は自分のもの以外は利用せず、ドリンク等について回し飲みなどはしない
- ✓ 控え場所でテントを張っての控え場所を確保する場合は、常に風通しを意識し、密閉状態とならない工夫を行うこと（サイドの風よけや三角型のテント等は原則使用しない）
- ✓ 各チームでも消毒液等を準備し、共用の場所へ移動した際は手指消毒をおこなうこと
- ✓ 更衣室内ではマスク着用のまま、会話は控え短時間で更衣を済ませること
- ✓ ここに記載のない事項は大会関係者の指示に従うこと
- ✓ 大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は本連盟に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

以上

一般社団法人山形県水泳連盟 宛

## 大会参加ルール確認書

- ☐体調不良はありません。(発熱、咳、咽頭痛 等)
- ☐同居家族や身近な人に感染が疑われる方はいません。
- ☐過去 14 日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者・帰国者との濃厚接触はありません。
- ☐マスクを持参し、咳エチケットを行ないます(競技時、食事等を除く。※熱中症にも留意)
- ☐こまめな手洗い(30 秒以上)、手指の消毒を確実に実施します。
- ☐手洗い時のマイタオルを持参します。
- ☐飲食時は対面にならないよう注意し、飲み物の共用(大型ボトル)は行いません。
- ☐大声での会話及び応援を控えます。
- ☐鼻水、唾液のついたごみはビニール袋に入れ密閉して持ち帰ります。
- ☐他の参加者と十分な距離を確保するよう努めます。特に、観覧席、応援場所等
- ☐写真撮影する際は短時間で行い、他の参加者へ場所を譲るよう努めます。
- ☐飲食時は密集、対面を避け、会話を控えます。
- ☐その他の事項について、主催者の感染防止のための措置を遵守し、指示に従います。
- ☐万が一、大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、山形県水泳連盟へ速やかに連絡し、濃厚接触者の有無等について報告します。

| 検温日時(当日朝) | 結果 | 主催者使用欄<br>(チェック) |
|-----------|----|------------------|
| 月 日 時 分   | ℃  |                  |

所 属 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

いずれかに☒
☐役員関係者    ☐選 手    ☐指導者(コーチ)    ☐保護者(関係者)    ☐その他(マスコミ他)

※本書は個人情報保護法にもとづき、大会運営上の確認以外の目的で使用することはありません、